

情報公開文書

課題名 : 当院における間質性肺炎急性期に対する High Flow Therapy(HFT)の使用実績
研究期間 : 倫理委員会承認日 ~ 2019年3月31日

1. 研究の対象

2016年1月1日～2018年3月31日に当院で間質性肺炎増悪の診断でハイフローセラピー(HFT)を導入した方

2. 研究目的・方法

HFTは最大1分間あたり60Lまでの加温加湿されたガスを鼻カニューラで直接鼻咽頭内に送り込むことの出来る機器です。日本でも近年急性呼吸不全に対するHFTの有効性が示されています。しかし、その臨床的な根拠は不足しており、また導入指針や中止する基準も定まったものはないため、臨床医やスタッフが現場でそれぞれの判断において用いているのが現状です。これらの現状を踏まえて、当院で調査を行うことによりHFTの使用実態を把握することは重要だと考えます。

本研究では、急性呼吸不全の中でも高い死亡率の間質性肺炎急性期に対して、当院における使用実態を明らかにすることを目的としています。方法として、間質性肺炎増悪の診断でHFTを導入した患者さんの診療録をもとに調査を行い、HFTの効果、安全性などを評価します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、検査結果、病歴、治療歴、治療後の経過など

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません。

5. 研究組織

この研究は、当院のみで実施されます。

6. 個人情報の取扱い

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、

2018年10月15日作成

研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所： 浜松市中区富塚町 328 番地 浜松医療センター

電話： 053-453-7111 (代表)

リハビリテーション技術科 新屋 順子 (研究責任者)